



○鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止計画の作成について

愛知県内では、37市町村で鳥獣被害防止特措法に基づく被害防止計画が作成、公表されています(2022年4月1日時点)。今年度、新規作成や計画期間満了による更新を予定している市町村にあっては、より実現性が高く地域農業振興に役立つ計画を作成するようお願いします。

- (1) 実施が見込まれる活動を具体的に掲載する
- (2) 当事者の努力で達成可能な目標を設定する
- (3) 更新の場合もまっさらな記入様式を使って作成する

(1) 実施が見込まれる活動を具体的に掲載する

期間中に実施される活動を主軸に、計画を組み立てましょう。活動を実施しなければ、計画を作る意味がありません。各種の補助事業を実施する場合、農業者の要望を集めるはずですが、寄せられた要望に沿った素直な計画とすれば、現実の活動内容との齟齬は生じないはずですが。

ニーズに応じるだけでは十分とはいえません。ニーズ対応に加え、提案(シーズ)を盛り込みましょう。シーズとしては、人材育成活動をぜひ取り上げていただきたいです。農業者や集落を対象とした研修・ワークショップ、捕獲従事者を対象とした情報と選択を共有する機会を設定いただければさいわいです。



捕獲従事者を対象とした研修会の様子

(2) 当事者の努力で達成可能な目標を設定する

計画書には被害軽減目標(被害金額、被害面積など)を記載しなければいけません。指標数値を一律に30%軽減する目標を掲載した計画書が目立ちますが、本当にそれでいいのでしょうか。実現が極めて困難な目標は、却って人々の意欲を損ないます。計画に沿って活動すれば、着実にアプローチできる目標としましょう。

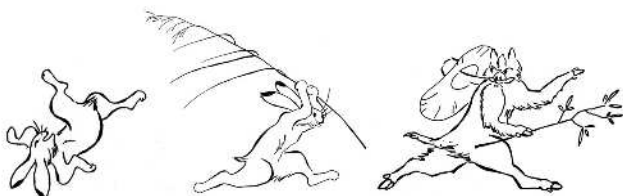
新たな人材育成活動、農業者による捕獲補助活動、新技術の実証活動など、シーズにまつわる定性的な目標も設けるといいでしょう。目標に掲げた以上はやらなければいけないので、進行管理にも役立ちます。

(3) 更新の場合もまっさらな記入様式を使って作成する

過去ファイルの焼き直しでは、以前の計画書に記載されている内容に引きずられて代わり映えのしないものになりがちです。既存の情報が意思決定に影響することを「アンカリング効果」といいます。まっさらの様式を使うことは、アンカリング効果を回避する最良の方法です。



(TO)





○イノシシの捕獲頭数について【2022 年度第 2 四半期速報】

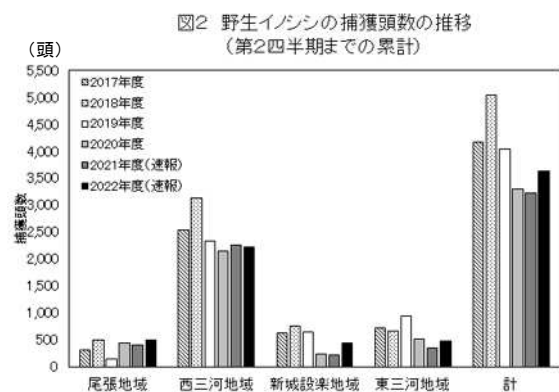
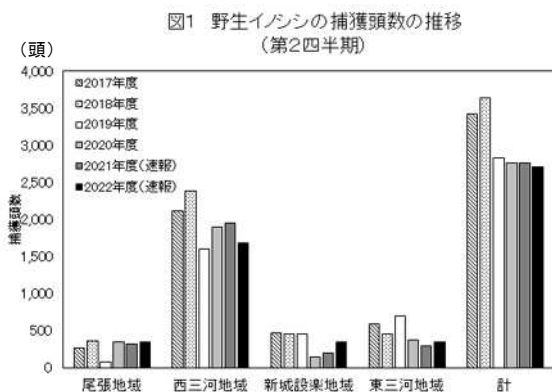
県内の有害鳥獣捕獲及び指定管理鳥獣捕獲等事業により捕獲されたイノシシの頭数について、2022 年度第 2 四半期分（7 月から 9 月まで）がとりまとまりました（表）。

第 2 四半期の県全体の捕獲頭数について、2022 年度（速報値）は 2,707 頭と、前年度（速報値）の同程度でした。地域別では、西三河地域を除く地域で増加しており、特に新城設楽地域では前年度比の約 1.8 倍でした（図 1）。

第 2 四半期末時点の捕獲頭数の累計値について前年度と比べ、尾張地域、西三河地域では概ね横ばい、新城設楽地域、東三河地域では増加しており、県全体としては増加しています。（図 2）。

表 直近 3 年度の地域ごとの野生イノシシの捕獲頭数 (頭)

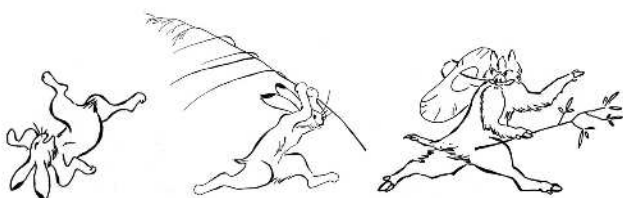
	第 2 四半期			第 2 四半期までの累計		
	2022 年度 【速報】	2021 年度 【速報】	2020 年度	2022 年度 【速報】	2021 年度 【速報】	2020 年度
尾張地域	339	321	346	490	393	434
西三河地域	1,686	1,954	1,891	2,226	2,263	2,138
東三河地域	343	291	375	434	340	507
新城設楽地域	339	190	144	478	219	224
計	2,707	2,756	2,756	3,628	3,215	3,303



(NK)

○愛知県わな捕獲技術向上セミナーを開催しました！！

愛知県では、野生鳥獣による農業被害が深刻化していることを受け、その捕獲の担い手となる狩猟者の確保・育成を行っており、9 月 23 日（金・祝）に愛知県緑化センター・昭和の森（豊田市）において、わな猟の初心者等を対象としたセミナーを開催しました。参加者は 10 代から 70 代までの幅広い年代で、計 20 名の方に参加いただきました。





当日はあいにくの雨で、当初予定していた屋外でのわなの架設実習は実施できませんでしたが、「狩猟免許の活用方法」、「イノシシの生態」や「わな捕獲の極意」について、現場のリアルな映像も交えた講義と、屋内で箱わなや、くくりわなの架設実習を実施しました。

参加者からは、「講師の実経験に基づいたお話しはとても興味深かった」、「餌付けがわな猟で捕獲を効率的に行うために効果が高いことを知った。」などの感想がありました。

11月15日からいよいよ今シーズンの狩猟が始まります。本セミナーに参加いただいた「ハンター」の皆様の活躍を期待しております！



講義の様子
【イノシシがトマトをむしゃむしゃ】



狩猟道具の解説の様子
【これが電気止刺器だ！】

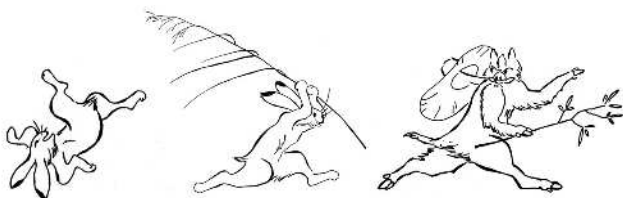


くくりわな架設実習の様子
【ワイヤーのセットが大変！】



箱わな（中型獣用）の架設実習の様子
【仕組みがわかれば、意外と簡単】

(NK)





○野生イノシシ対策室の **YouTube** 本格始動・・・！

野生イノシシ対策室の YouTube があることをみなさんご存じでしょうか・・・？

約1年前に立ち上げひっそりと投稿を続けていたのですが、直近で投稿した2本の動画は編集ソフトを使った編集にも挑戦しています。

餌付けの様子や誘引のポイント、捕獲の瞬間を捉えた動画となっていますので、ぜひご覧ください・・・！



みんなにもみてほしいべえ～
チャンネル登録もぜひ
お願いするべえ！



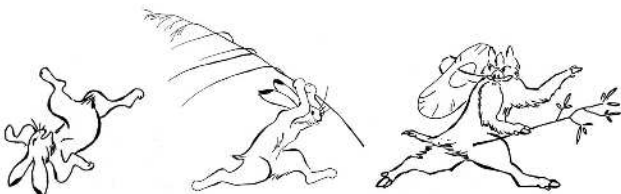
(NS)

○農作物の鳥獣被害対策の基本と課題 第4回 ～入れない対策“侵入防止”～

農作物の野生鳥獣被害を軽減するためには、野生鳥獣を「寄せない」「入れない」「捕まえる」を組み合わせた総合的な対策(対策の三本柱)が重要です。今回は、野生鳥獣を田畑に出入りさせない侵入防止対策について解説します。

(1) 柵は正しく設置し、適切に管理する

柵は正しく設置しないと、効果が上がりません。次のページに例示するような誤った方法では、資材と労力の無駄です。





- ・ 獣種に対応した効果的な方法を選んでいない
- ・ ほ場をコの字に囲って設置するなど、囲い方が不十分
- ・ ワイヤーマッシュ柵の地際に隙間がある
- ・ 電気柵の高さが甘く、簡単にくぐり抜けることができる
- ・ 電気柵の電源装置の能力に対し、規模が大きすぎる

柵の設置作業が完了すると、「やれやれ終わった！」とつい安心してしまいます。しかし、油断は禁物。柵は「設置してからが本番」です。地域で共同管理する場合は、壊れた時の修繕費用(ワイヤーマッシュパネルなどの資材費)の拠出方法をあらかじめ決めておきましょう。

- ・ 必ず定期点検を行い、損壊を見つけたらすぐに修理する
- ・ ワイヤーマッシュにつる草が絡まったら取り除く
- ・ 電気柵は電源の確認を習慣づけ、こまめな除草で漏電を防ぐ



ワイヤーマッシュ柵は破損すること多い



定期的な点検が重要

(2) 鳥獣の種類に応じて方法を選ぶ

侵入防止対策は、農作物に被害する鳥獣を「大型獣(ニホンジカ、イノシシ)」「ニホンザル」「中型獣(ハクビシン、アライグマなど)」「鳥類」の4とおりに分けて考えましょう。侵入防止の難易度は、**大型獣<サル≦中型獣<鳥類**の順で高くなります。

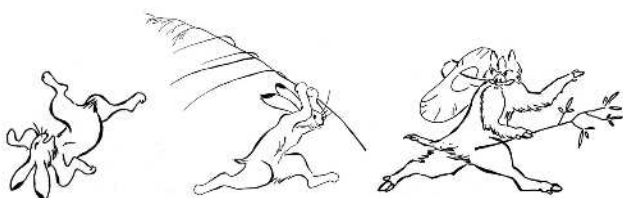
ア 大型獣 ～ニホンジカ、イノシシ～

ある程度まとまった農地を大きく守りたい場合は、ワイヤーマッシュや金網柵が向いています。一方、園芸ほ場やビニルハウスの周囲など、限られた範囲では電気柵が向いています。ほ場に入出入りしやすく、不要な時期は取り外しておくこともできます。

集落の外周をワイヤーマッシュ柵で大きく囲う方法は効率的ですが、道路や河川等による開口部が問題に



—— ワイヤーマッシュ柵 電気柵



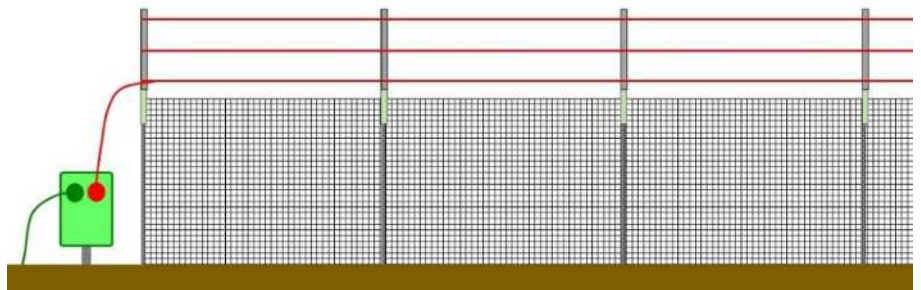


なります。一方、農地の区画ごとに設置する方法は確実に防御することができますが、農地への出入りや作業の妨げになります。いずれも一長一短なので、地区でよく話し合い、問題点を共通認識とした上で取り組むことが重要です。農地や道路などの損壊、交通事故など、大型獣は農作物被害以外の影響も大きいので、農村環境そのものを守るイメージで取り組みましょう。

イ ニホンザル

イノシシやハクビシンなど、多くの野生獣は夜間に人知れず侵入しますが、ニホンザルは日中にやって来ることが特徴です。そのため、最も重要な侵入防止対策は「追い払い」です。見かけたら必ず追い払いましょう。

大型獣用のワイヤーメッシュ柵の上部に3～4段の電気柵を設置することで、侵入防止効果があります。電気柵の支柱を掴んで器用に乗り越えることがあるので、支柱にアルミテープなどを巻いて通電させる「おじろ用心棒」という方法がより効果的です。電気柵を追加設置しても、山林内や山際に設置された柵の場合は、樹木を利用して上から飛び込むことがあります。農地沿いの柵の場合も、そばに立木がある場合は枝払いや伐採をしましょう。



支柱(FRP絶縁ポール)の一部にアルミテープを巻く



ワイヤーメッシュ柵の上部に取り付ける

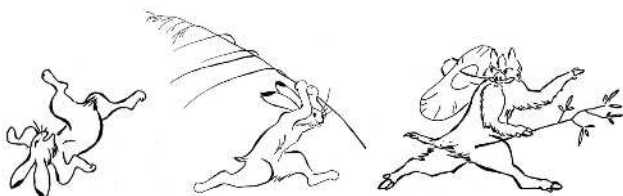
ウ 中型獣 ～ハクビシン、アライグマなど～

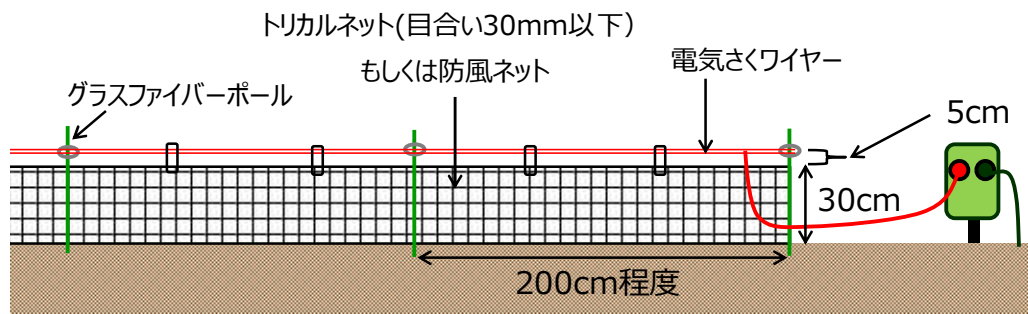
園芸作物に大きな被害を与えるハクビシンは、まさに忍者です。小さな隙間をくぐり抜け、垂直のパイプを上り、電線を渡って移動します。

ハクビシン等の中型獣に効果的な方法として、埼玉県が開発した「楽落くん」があります。高さ30cmのネット柵の上に5cmの間隔を置いて電気柵を1段設置するもので、果樹園や果菜類などの防御に向いています。ハクビシン等の行動観察から編み出された確実に感電させる方法で、埼玉県ウェブサイトには詳しい設置マニュアルが公開されています(下記URL)。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/104427/0329rakuraku3.pdf>

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/104427/rakurakukunlitever2.pdf>





中型獣用侵入防止施設「楽落くん」の模式図

エ 鳥類

上空から飛来するので、柵で囲って侵入を防ぐことはできません。確実な侵入防止対策は、ほ場全体を防鳥ネットですっぽりと覆ってしまうことです。カラスの場合は、テグスやステンレスワイヤによる侵入防止対策が有効です。あいち鳥獣通信 vol. 2-No. 3 に愛知県農業総合試験場による実証結果が掲載されていますので、参考にしてください(下記リンク)。

<https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/420274.pdf>

(TO)

☆参考文献・資料

- ・江口祐輔ら. ハクビシンにおける径の異なる円柱に対する登り行動. 日本家畜管理学会・応用動物管理学会合同発表会要旨. 2012
- ・藤本竜輔. イノシシ用電気柵の設置段階に発生するヒューマンエラーと普及指導の効果. JATAFFジャーナル7. 2019
- ・本田剛. イノシシ(*Sus scrofa*)用簡易型被害防止柵による農業被害の防止効果: 設置及び管理要因からの検証. 野生生物保護9. 2005
- ・本田剛. 被害防止柵の効果を制限する要因 -パス解析による因果推論-. 日林誌 89. 2007
- ・加瀬ちひろら. ハクビシンにおける侵入可能な入口の大きさ及び形状の検討. 日本家畜管理学会誌・応用動物管理学会誌 46. 2010
- ・マニュアル企画編集委員会. 野生鳥獣被害防止マニュアル—総合対策編一. 2018
- ・マニュアル企画編集委員会. 野生鳥獣被害防止マニュアル -アライグマ、ハクビシン、タヌキ、アライグマ. 2018
- ・村松広貴ら. 防護柵の延伸がイノシシによる水稻被害軽減に直結しない理由. 野生生物と社会7. 2019
- ・埼玉県農業技術研究センター. 中型動物の農作物被害防止柵 楽落くん設置マニュアル. 埼玉県公式ウェブサイト. 2017
- ・鈴木克哉ら. 通電式支柱「おじろ用心棒」を用いたサル用電気柵の効果と特徴 -兵庫県香美町の事例から一. 兵庫ワイルドライフモノグラフ5. 2013
- ・塚田真理子ら. ハクビシンにおける歩行可能な足場条件の検討 -特にロープの太さについて-. 日本家畜管理学会・応用動物管理学会合同発表会要旨. 2009

